わぁーこんな大きいのがあったよ

家族でクリ拾いの秋を楽しむ

「わぁ、子どもたちの元気な声が響く、大きなクリがあったよ」静かな山あいに前、鎌倉の十二所果樹園でクリ拾い」が9月17日午行われ、親子百人余が参加した＝写真。

公募の小学生以下の子どもと家族39組が参加した。当日の飛び入り参加もあり、楽しくにぎやかなクリ拾いが繰り広げられた。

5ヘクタールの果樹園には約2百本のクリの木があり、イガからはじけて「天下の秋」を教えていた。

見事なクリを両手ににぎりしめて「クリご飯で食べたいな」と笑顔で話す子もいた。

例年クリを生産している農家は「例年になくクリの出来が悪い。6月の長雨の影響では」と話していた。

『女優になったみたい』

川喜多記念館でシナリオ教室

映画を通して国際交流を目指した川喜多長政・かしこ夫妻の屋敷跡に昨年4月、開館した鎌倉市雪ノ下の川喜多映画記念館で、7、8月の夏休み期間中、子どもシナリオ教室が開かれた。

希望者が多かったため、2回にわたり開催され、抽選で受講者を決めた。鎌倉市内や横浜、東京からの小学4年から6年の30人が参加した。

一日目はシナリオの書き方の講座で、シナリオ・センターの新井一樹さんが、「シナリオは相手を思いやる気持ちで せりふや動作を創造する」ことなど指導した。子どもたちの書いたシナリオは添削され、それぞれのよい部分をあわせて1つのシナリオが作られた。

二日目はシナリオをもとに、8人のチームで役者と監督、カメラ、マイク、カチンコなどのスタッフに分かれ、撮影を行った。子どもたちは好天の下、川喜多記念館とその周辺で約2時間半かけてせりふの練習や撮影に取り組んだ＝写真。

でき上がった作品は同館のスタッフが1本4分ほどに編集。作品の上映会は親なども参加し、全員で作品を観賞した。

女優志望の5年生の女子は「本物の女優になれたみたいで楽しかった」と述べ、「友だちができた」「映画をつくるのは大変と思った」の感想もあった。

ひと

画家、少林寺拳法 ヨガと多彩な活躍

石渡孝広（いしわたたかひろ）さん

子どもの頃から絵が好きだった。中学から高校にかけ、車のボディーに描く絵にとった。

15歳で少林寺拳法を始め、19歳でヨガに出会った。少林寺拳法との共通点を取り入れたヨガを指導する。国際色豊かな体験が次々に語られ、世相を反映した話につながる。聞いていてあきない。

オートバイや車を飾る派手な絵は、1950年代からアメリカの若者のトレンドだった。新横浜でその世界の第一人者から、エアブラシで吹き付ける方法などを学ぶ。友人に頼まれ、バイクやオートバイに描いた。小遣い銭程度の謝礼を貰い、それが仕事になった。

高校卒業後、ボディー絵の本場・カリフォルニアを訪れた。当時、サーフィンが盛んで、鮮やかな彩りのサーフボードが波に乗っていた。

サーフィンの本場・ハワイでヨガに出会う。古典的インドの健康法だったが、40年ほど前、スポーツ科学の研究や医学実験で「健康効果」が実証された。若いサーファーがヨガを楽しんでいた。

ヨガは中学入学時に始めた少林寺拳法と似ている点が多かった。少林寺拳法入門の動機は、小学生時代から続くいじめ防止だった。「強くなればいじめられない」。家の近くにできた道場で鍛えた。

少林寺拳法は、ゆったり円を描く動作を主に体を調整する太極拳のルーツである。筋肉をほぐし、疲れをとり、肩こり、腰痛、膝の痛みなどに対応できる。

経験から学んだ長所を生かし、石渡流ヨガを指導。「体の不調は自分で改善できる。瞑想という言葉を難しく考えないで、歩いたり、寝たり、食べたりの日常生活で深呼吸することで、内臓から健康になる」と説く。

身長173㌢、体重63㌔。20年以上、同じ。病気もしていない。

7年前、鎌倉市の依頼を受け、老人福祉施設でヨガ教室を始めた。受講生は2、3人だったが、最近は定員を上回り、抽選になるという。「ヨガをビジネスにして会員を増やしたり、金をかけて施設を構えたりしない」との方針を貫いている。

絵は日本画、洋画、肖像画と何でも描く。画材、画法にこだわらない。作品は注文を受けてから描き始める。ほかの画家とは一線を画す。

「謎の絵描きかな」とつぶやいた。

8年前、横浜市緑区から鎌倉市大町に転居。画房「椿」を営む。名刺には名前の一文字、孝の下にKOUと記す。53歳。

文・洞口和夫

被災地の合唱団が特別出演

鶴岡八幡宮で鎌倉音楽祭

鎌倉の鶴岡八幡宮で8月28日行われた「鎌倉音楽祭・鶴舞2011」に東日本大震災の被災地の合唱団が参加し、約2千5百人の観衆の前で歌った。

音楽祭は06年から始められ、6回目。武部聡志さんを音楽監督に、毎回さまざまなプロの演奏家たちが共演する。

スターダスト・レビュー、チャゲ、夏川りみらの盛り上がった舞台のあと、南相馬市の少女合唱団MJCアンサンブルの中高生16人が出場。指揮の金子洋一教諭から「メンバーの3分の2は避難生活をしている」と紹介されたあと、金子みすず作詞「明るいほうへ」を披露した。

夕方から始まったコンサートはいつのまにか闇に包まれ、周辺の樹木とともにライトに照らし出された舞殿でのフィナーレは、全員で大イチョウの再生と震災の復興を祈願しながら熱唱した＝写真はJILNS提供。

敬老祝い成果を発表

玉縄すこやかセンターで交流

鎌倉市玉縄の老人福祉施設・玉縄すこやかセンターで、9月10日、フェスティバルが開かれ、利用者の作品展示や舞台発表、模擬店「郎」のコーナーもにぎわった。

同センターは鎌倉市内在住の60歳以上が健康維持や交流の場として利用している。民謡、詩吟、囲碁や将棋、中国語、健康体操、太極拳など約30のサークルがあり、年1回9月に敬老を祝い、日ごろの活動の成果を発表し、地域の人たちと交流する。

手芸品や絵画、書などが展示され、詩吟や日本舞踊などの舞台、炎天下の屋上では太極拳、ゲートボールが行われた。

太極拳に約20人が参加し＝写真＝、24式、広播、16式、剣などを披露した。90歳になる塚田すみさんは「72歳から始めた。健康にいい」と話していた。

入れたてのコーヒーを1杯百円でサービスするボランティアグループ「珈琲野

世界平和と復興を祈る

大船観音

民族舞踊や万灯供養も

「つながる・ひろがる・アジアのねがい」をテーマに9月10日、鎌倉市岡本の大船観音寺で「ゆめ観音アジアフェスティバル」が開かれた＝写真。宗教や民族を超えてアジアの人々がそれぞれの国の様式で平和の祈りをささげ、ともに音楽や舞踊を行う催しで1999年に始められ、13回目。

開会で神奈川県原爆被災者の会の副会長が「核兵器も戦争もない平和な世界を」の願いを語った。同寺の境内にある「原爆の火の塔」は広島の原爆の残り火が分火された貴重な火で、同会が守り続けている。

アジア料理の屋台が出店し、ステージではジャワ、日本、インドなどの音楽や舞踊が披露された。

夕方から東日本大震災や各地の災害からの復興を祈る万灯供養法要やキャンドルナイトがあった。

東慶寺の体験教室
自分さがしと自分みがきに
早朝座禅会
写経会
茶道体験
香道体験
押し花体験
東慶寺
詳しくはホームページをご覧下さい
WWW.tokeiji.com
お問合せ、申込みは東慶寺まで
0467-22-1663

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 念珠 他
鎌倉に蘇える伝統の香り
香司 鬼頭天薫堂 鎌倉
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL. 0467-22-1081(代)
http://www.tenkundo.co.jp/

い・い・ま・ち・鎌倉
御成（おなり）不動産
(扇ヶ谷入口第一生命前)
鎌倉市御成町13番22号 ☎0467－25－1003(代)

漢方薬専門薬局・漢方処方調剤
大船の漢方薬
大船漢方堂
漢方薬専門薬局ですので、なるべく本人が御来店下さい。
〒247-0061 鎌倉市台1-3-10 TEL.0467(47)3311
営業時間：午前10時～午後7時 木・日・祝日休業

明日の環境を創造する。
浄化そうの清掃維持管理
貯水槽清掃及び環境整備事業は
株式会社 神中運輸
〒248-0007 鎌倉市大町4-1-35 ☎(0467)(22)2205(代)

Yamase かまくらカスター
鎌倉本店 鎌倉駅前本館 ☎23・3851
逗子店 ルミネウィング(大船)店
横浜そごう店 藤沢小田急店

八幡宮前・蒲焼専門店
うなぎ 茅木家
☎(22)1460